

下地や床材の種類によって工法・専用接着剤は異なります。詳細は別紙「工法」の表でご確認ください。  
(記載内容以外の工法での施工トラブルは、原因説明ができませんのでご相談には応じられません。)

## 工法と接着剤・副資材選定表

工法	用途	下地	接着剤	継目処理材	端部処理材
プールサイド 継目止水工法	プールサイドなど 特に大量に水を使用する場所 (屋内プールサイド)	吸水性下地・ 非吸水性下地	タキボンド# 601	ジョイントシートS タキボンド# 620 床溶接棒	エポシール

注 1) 下地の伸縮目地に施工すると伸縮目地でフクレや亀裂が生じることがありますので、目地手前で床材を仕上げ目地を露出させてください。

注 2) 下地の種類によっては本来の接着強度が発揮できない場合がありますので、事前の接着テストをおすすめ致します。

注 3) 水中には施工できませんのでご注意ください。

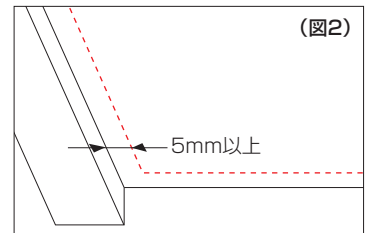
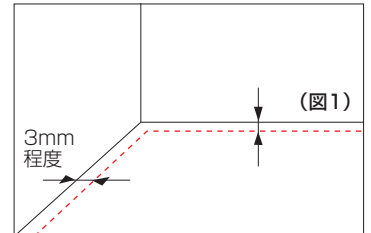
注 4) 継目止水工法はジョイントシートS・タキボンド# 620・床溶接棒が必要です。

## 1. 下地の清掃

- 砂・塵埃などを除去してください。

## 2. 割り付け

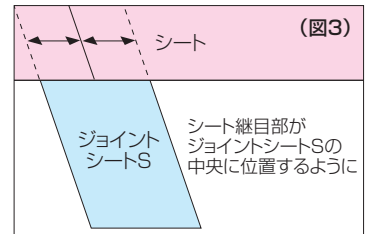
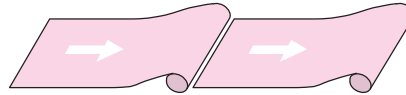
- できるだけ継目部を少なく、端部に小さなシートが入らないように割り付けてください。
- 端部は端部処理材の仕上げ代として排水溝端部から5mm以上、壁際は3mm程度の隙間を空けてください。(図1、図2)
- 接着剤を端部まで塗布するため、シート端部の位置を下地に鉛筆などで付けてください。



## 3. 仮敷き

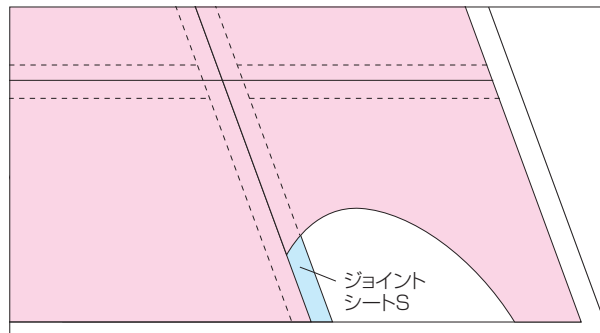
### <シート>

- 張り付け基準線に沿って、仮敷きを行ってください。
- シートには方向性があります。同一方向になるように施工してください。
- 巻きグセを取り、シワが生じないように敷き延ばしてください。
- 柄模様のあるシートは、できるだけ柄合わせを行いながらシートを敷いてください。
- 二枚のシートの継目部は突き付けとし、隙間が生じないように注意してください。
- 継目は柄模様の目地部で行うのが基本です。

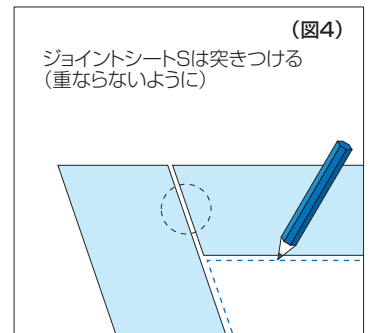


### <ジョイントシート>

- ジョイントシートSをシートの下に敷いて、下地にけがいてください。
- ジョイントシートには表裏がありません。
- ※ シートの継目がジョイントシートSの中央に位置するようにしてください。(図3)
- ※ ジョイントシートSは重ならないように注意してください。(図4)
- ※ シート重ね切り等の際、ジョイントシートSを切らないように注意してください。

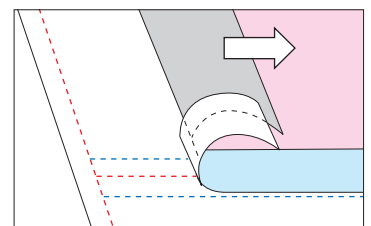


<仮敷きイメージ>



## 4. 接着剤の塗布準備

- 下地に接着剤を塗布するため、シート及びジョイントシートSをずれないように折り返してください。
- シートは巾方向に折り返してください。



## 5. 接着剤(タキボンド#601)の塗布

- タキボンド#601は下地上での混合は行わないで別容器で十分に攪拌してください。(下地上で混合すると混合不良となり後日のフクレ・接着不良の原因となります。)
- 下地に塗布ムラが生じないように均一に塗布してください。
- クシ山が1/3以上摩耗した場合、三角ヤスリで目立てを行ってください。
- ジョイントシートS上面にも接着剤塗布が必要です。
- ジョイントシートには表裏がありません。

標準塗布量

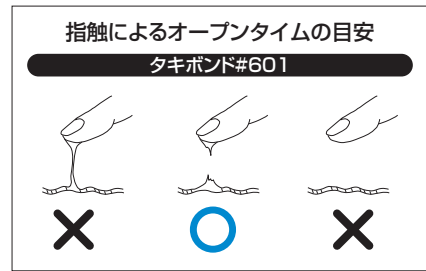
接着剤	下地	標準塗布量
タキボンド#601*	モルタル下地	300~400 g/㎡
	非吸水性下地	250~350 g/㎡

- 塗布後、オープンタイムを取り、張り付け可能時間内にシートを張り付けてください。
- オープンタイムが短いとガス膨れが生じます。
- オープンタイムを取り過ぎて接着剤が乾きすぎると接着力が低下します。

オープンタイムの目安(20℃)

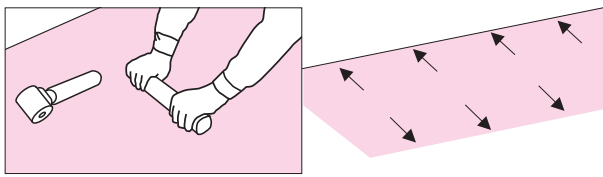
接着剤	オープンタイム	張り付け可能時間
タキボンド#601*	30~40分	60~70分

※5℃以下では使用しないでください。(硬化反応が進みません。)



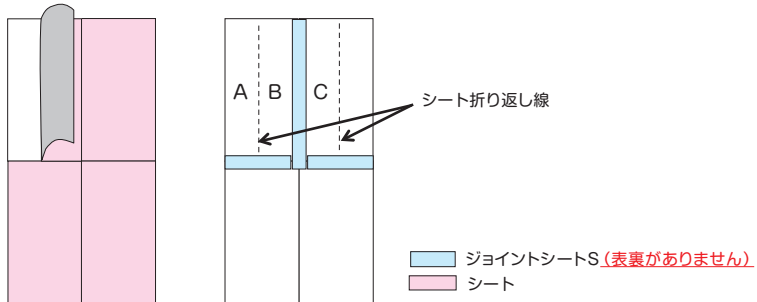
## 6. 張り付け・エア抜き

- ジョイントシートSは、張り付け後、シワが入らないようにローラーで圧着してください。
- シートはシワを生じさせないように、中央部から巾方向に丁寧に張り付けてください。
- シート張り付け後、しごき圧着でエア抜きを十分に行い、床ローラーで圧着してください。

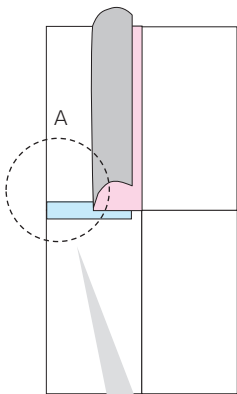


### 張り付け手順の一例

シート4枚の割り付けで、  
A→B→Cの順に張り付けていく場合

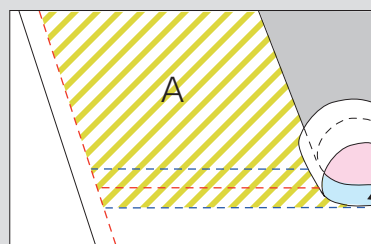


### Aの部分の張り付け

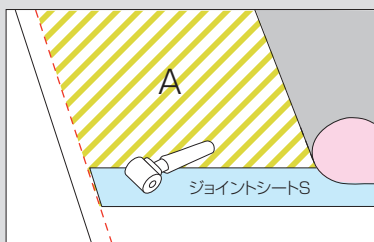


(1)下記の斜線部分に接着剤を塗布してください。

赤線:シート継目のけがき線  
青線:ジョイントシートSのけがき線

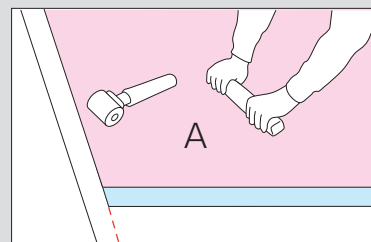


(2)オープンタイムを取り、ジョイントシートSを先に張り付けてください。



※シワが入らないように圧着してください。

(3)シートを張り付け、圧着してください。



※ジョイントシートSとシートはまだ接着していない状態。

試験データ  
P.175

法規関連  
P.199

工法・下地  
P.209

施工手順  
P.227

接着剤・副資材  
P.281

副資材  
品番一覧  
P.293

メンテナンス  
注意  
P.297

シート4枚の割り付けで、A→B→Cの順に張り付けていく場合

## B

Bの部分の張り付け

(1) 下記の斜線部分に接着剤を塗布してください。  
 赤線:シート継目のけがき線  
 青線:ジョイントシートSのけがき線

**<注意>**  
 ジョイントシートSの上にはまだ塗布しないでください。

(2) オープンタイムを取り、ジョイントシートSを先に張り付けてください。  
 ※シワが入らないように圧着してください。

(3) シートを張り付け、圧着してください。  
 ※ジョイントシートSとシートはまだ接着していない状態。

## C

Cの部分の張り付け

(1) 下記の斜線部分に接着剤を塗布してください。

Bシート端部下のジョイントシートSの上にも塗布

※接着剤塗布後、Bシート端部は軽く浮かせておく。(圧着しないこと)

斜線部分以外のジョイントシートSの上にはまだ塗布しないこと。

(2) オープンタイムを取り、ジョイントシートSを先に張り付けてください。  
 ※シワが入らないように圧着してください。

(3) シートを張り付け、圧着してください。  
 ※Bの端部も圧着してください。

### 7. 壁際の裁断

- 壁際は3mm程度の隙間が空くように裁断してください。
- 下地に防水層がある場合は、カッターナイフ等で傷を付けないように注意してください。

### 8. 圧着

- 壁際及び継目部をハンドローラーやコーナローラーで十分に圧着してください。

試験データ  
P.175

法規関連  
P.199

工法・下地  
P.209

施工手順  
P.227

接着剤・副資材  
P.281

副資材  
品番一覧  
P.293

メンテナンス  
注意  
P.297

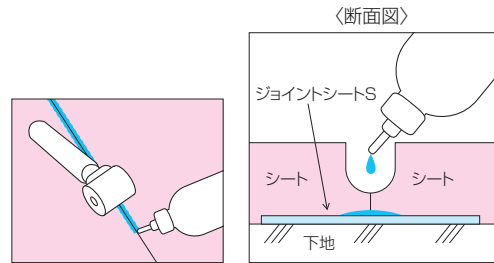
## 9. 継目処理

### 継目止水工法

- シートの継目にタキボンド#620を流し込み、直ちにローラーで圧着してください。
- ※U字溝を設けてからのほうが、タキボンド#620が流し込みやすくなります。

標準塗布量

タキボンド#620	100m/1缶(400ml)
-----------	----------------

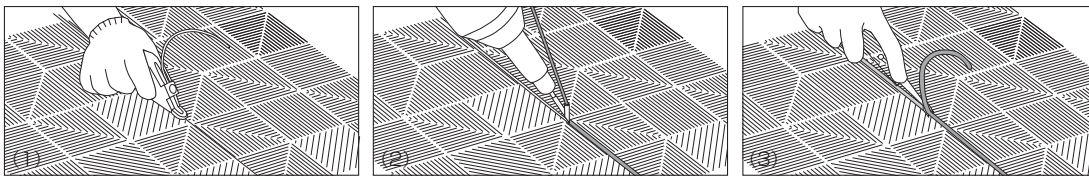


### 〈接着剤硬化後〉

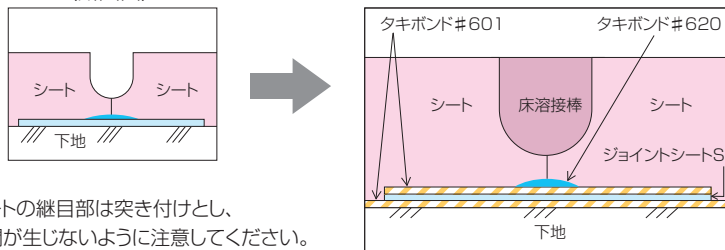
- (1)接着剤が完全に硬化してから溝切り機\*等でシート厚みの2/3程度の深さでU字溝を設けてください。  
\*推奨:ヤヨイ化学販売(株)「ユーキルスーパー」
- (2)熱風溶接機(ライスター)でタキストロン床溶接棒を溶融させながら溶接ビードができる程度に溶接してください。

溶接条件の目安	設定	アナログ	6~7
			デジタル
	スピード		1~2m/分

- (3)タキストロン床溶接棒が冷えてから余盛部を溶接棒トリマー等で平滑に仕上げてください。



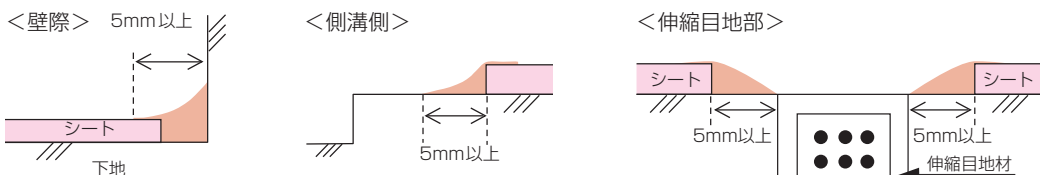
〈断面図〉



※シートの継目部は突き付けとし、隙間が生じないように注意してください。

## 10. 端部処理

- (1)仕上がりを美しくするためにマスキングテープで養生してください。
- (2)エポシールの硬化剤の缶に主剤とカラーマスターを投入し、色が均一になるまで攪拌してください。  
混合したエポシールを付属の空カートリッジに注入し、カートリッジのフタを締め、コーキングガンにセットしてください。
- (3)気泡を巻き込まないようにシート端部及び壁際に塗布してください。
- (4)充填後直ちに仕上げ用ヘラで平滑に仕上げてください。
- (5)ヘラ仕上げ後直ちにマスキングテープを除去してください。



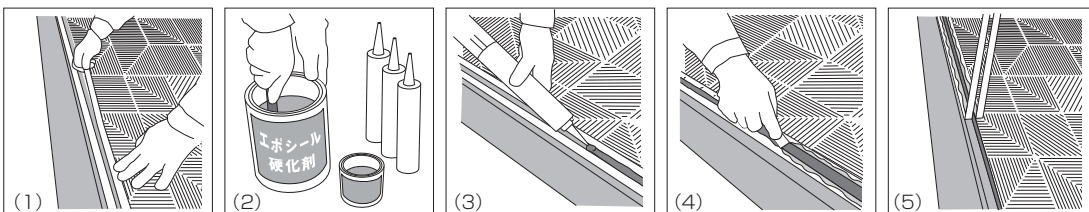
※伸縮目地がある場合は目地手前で端部処理を仕上げ、目地を露出させてください。(伸縮目地上にシールを打設すると、シールにひび割れが発生する恐れがあります。)

※エポシールの仕上げ面は、硬化後多少やせが生じます。

※施工時や養生中に湿度の高い場合や、結露、水滴などにより、シール表面の光沢に差が生じることがありますが、

端部処理としての機能には問題はありません。施工日が異なる場合は打継ぎ箇所を目立たない所にするなどご注意ください。

※エポシールは主剤、硬化剤、カラーマスターの混合が必要ですので、同梱の取扱説明書を参照してください。



施工副資材 標準使用量

シート厚さ	エポシール
3mm以下	60m/2kgセット

## 11. 清掃

- シート残材・接着剤容器・梱包紙等を片付けてください。
- カッターナイフの折れ刃の回収を徹底してください。

## 12. 養生

- 端部処理材が硬化するまで踏まないでください(2~3日以上)。
- 土足での歩行を控え、養生シートを敷いて汚さないようにしてください。
- 重量物の運搬などは、接着剤硬化後(1~2日)、ベニヤ板などを敷いて車輪の跡形や傷を付けないように行ってください。

試験データ  
P.175

法規関連  
P.199

工法・下地  
P.209

施工手順  
P.227

接着剤・副資材  
P.281

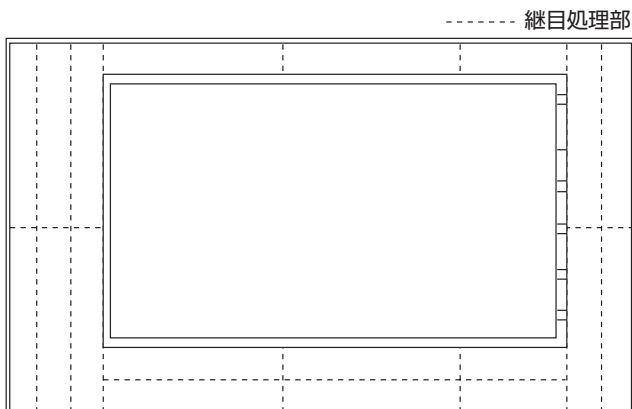
副資材  
品番一覧  
P.293

メンテナンス  
注意  
P.297

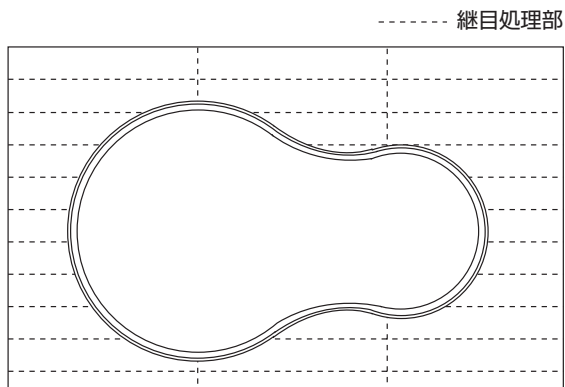
# プールサイド標準施設施工例

## 割付けモデル

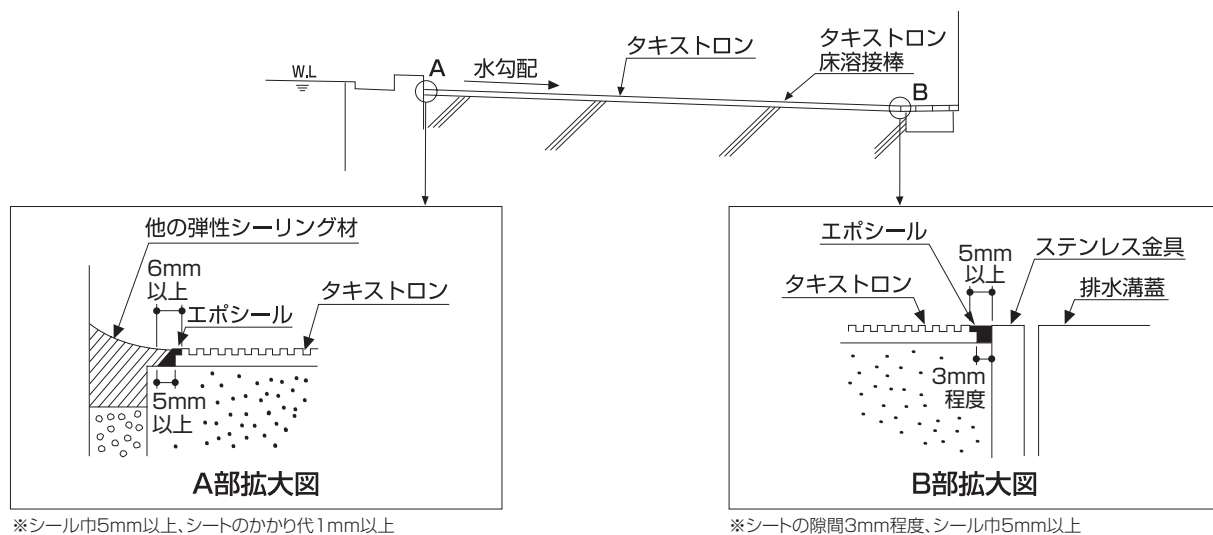
①25mプール



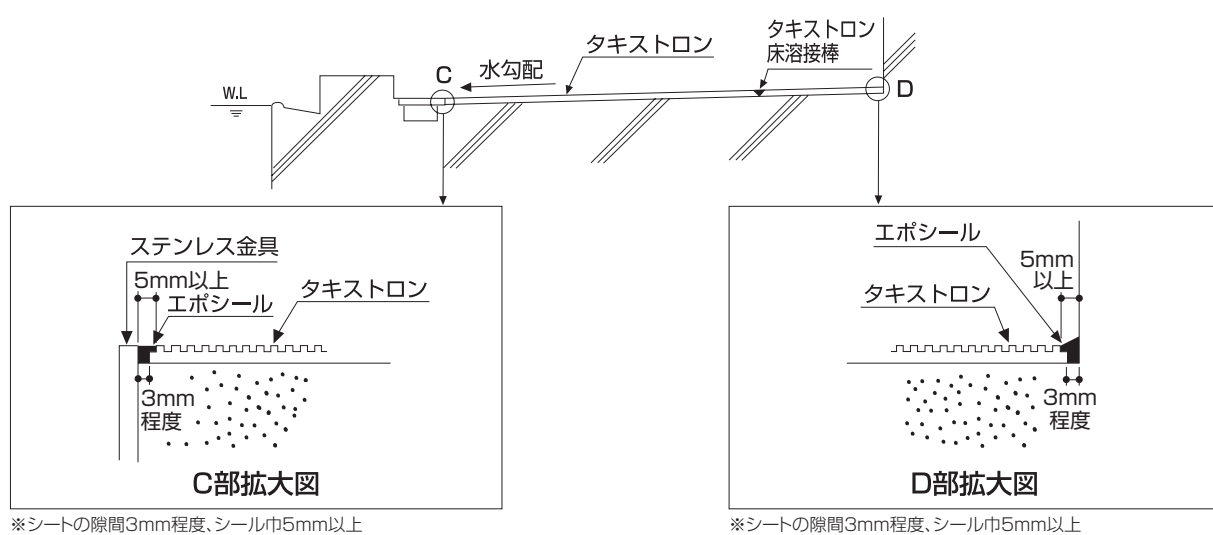
②変形プール



## ③外勾配プールサイド全面張り



## ④内勾配プールサイド全面張り



試験データ  
P.175

法規関連  
P.199

工法・下地  
P.209

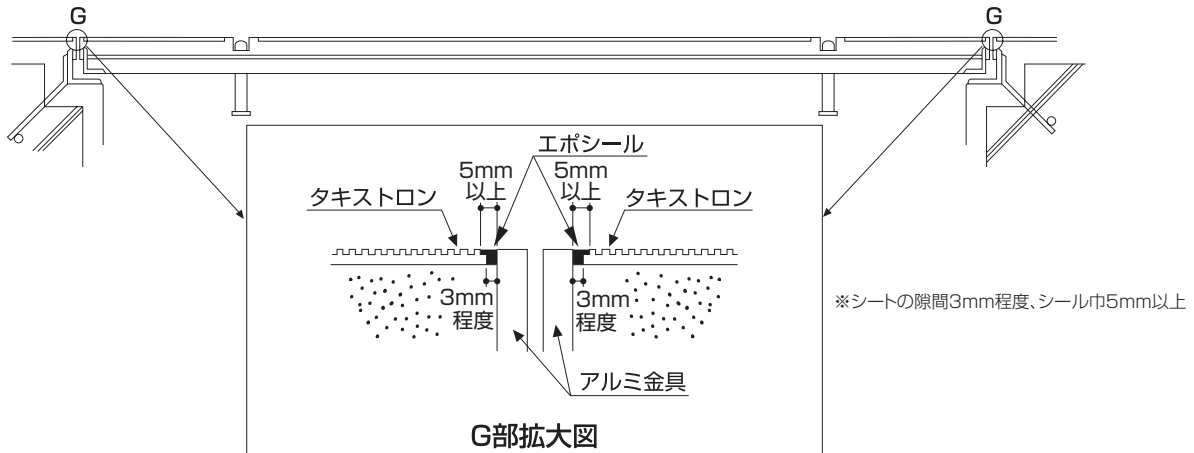
施工手順  
P.227

接着剤・  
副資材  
P.281

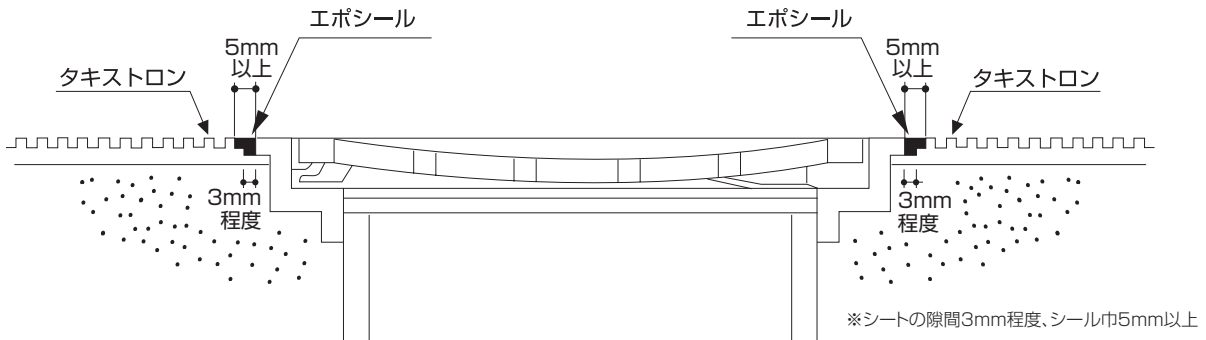
副資材  
品番一覧  
P.293

メンテナンス  
注意  
P.297

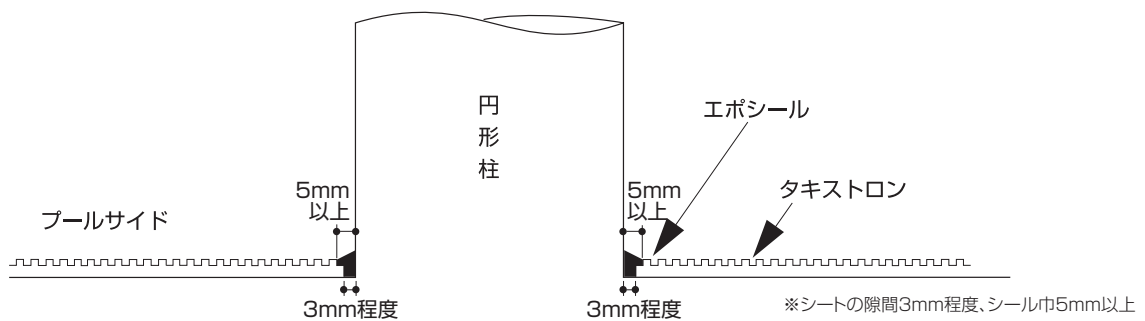
### ⑤床改めの口蓋



### ⑥排水トラップ



### ⑦プールサイド柱部の仕上げ図

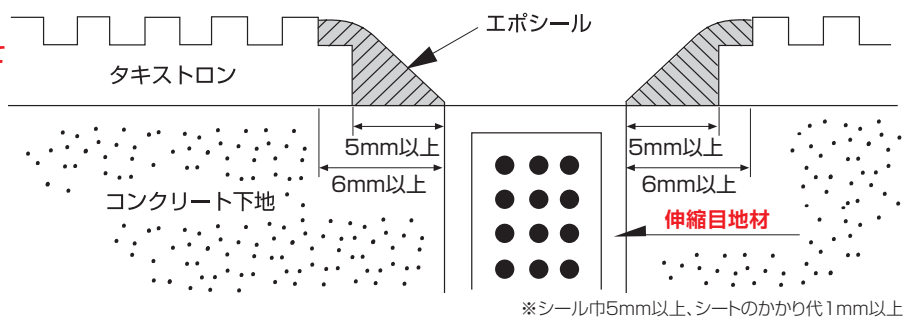


### ⑧下地の伸縮目地

下地の伸縮目地部は目地手前で端部処理を仕上げ、目地を露出させてください。

※伸縮目地上にシールを打設すると、シールにひび割れが発生する恐れがあります。

※シートの段差が気になる場合、エポシールの上から他の弾性シーリング材で仕上げてください。



試験データ  
P.175

法規関連  
P.199

工法・下地  
P.209

施工手順  
P.227

接着剤・副資材  
P.281

副資材  
品番一覧  
P.293

メンテナンス  
注意  
P.297